

税 労 第 62-019 号  
令和 3 年 11 月 15 日

各地区本部執行委員長 殿  
中 央 執 行 役 員

日本税関労働組合  
中央執行委員長 倉 本 和 邦

第 62 期第 2 回中央執行委員会議事録について（送付）

このことについて、議事録を作成したので、別紙 1 のとおり送付します。

## 第 62 期第 1 回中央執行委員会議事録

1 開催日時 令和 3 年 10 月 23 日 (土) 午前 10 時から午後 5 時

2 開催場所 会議するなら及び各地区本部 (ハイブリッド開催)

3 出席者

[中央執行委員長]

倉本和邦

[副中央執行委員長]

堀田将恵、齋藤雅記、原川佳也

[中央書記局]

鈴木宏彰 (書記長)、村岡和弥 (書記次長)

[中央執行委員]

武田靖、三浦慎也、太田美菜、秋山浩一、佐藤裕一、長谷川兼史郎 (WEB) 、福本一也、吳屋堯歩 (WEB)

4 議題

- (1) 第 1 回関税局長交渉議題について
- (2) 内閣人事局、人事院交渉の総括
- (3) 専門委員会の進捗・方向性、結果報告について
- (4) 各地区本部情勢報告 (旗開き等の開催について)
- (5) その他

5 議事内容

○中央執行委員長挨拶

- ・人事院勧告について、特別国会の中で審議される。上部団体等から情報収集して共有していく。
- ・中央執行委員会や専門委員会について、現在はコロナが落ち着いている。現在の状況であれば集合を基本として考えている。また WEB も考えている。
- ・今期は明るく前向きに活動を進めたいと考えている。

(1) 第 1 回関税局長交渉議題について

ア 交渉日、交渉体制、人選について

- ・現在、2回の予備交渉が終了している。候補日は、11月 26 日 (金)、30 日 (火)、12月 1 日 (水) となっている。当局も 11 月中を希望しているため、26 日、30 日が濃厚となっている。

- ・交渉体制であるが、コロナも落ち着いていることもあり、一昨年程度の 10 名から 12 名程度で当局も検討している。コロナの影響で変わることもあるので変更があれば逐次共有する。
- ・人選について、先日の四役会議で検討した結果、専従者 3 名、副中央執行委員長 3 名で 6 名となり、残り 4 から 5 名となるが、イメージとしては全地区本部から代表が出席していることが望ましいと考えている。とすれば、残りは函館地区本部、長崎地区本部、沖縄地区本部、さらに、女性代表として東京地区本部から 1 名の計 10 名で検討している。

#### イ 交渉議題について

配布資料を基に鈴木書記長から説明を行った。確認した点は以下のとおり。

- ・神戸の監視艇（水島の「わかしお」、広島の「あき」）の人員の問題について、横浜が過去に「同一港内にあるので船員のやり取りができる。だから法廷人員+にならない」という局の見解がある。と当局から回答があった。神戸も本関、1 ブロック、2 ブロックを瀬戸内海として同一で捉えられている可能性があるため、考查管理室に確認することとした。
- ・議題 2 の昇任、昇格の基準等の部分について、各地区本部の税関長交渉では「組合員の」と入れているが、11 月の関税局長交渉は入れずにこのまます。来年 2 月の考查管理室長会見、5 月の関税局長交渉等から組合員の差別化の観点から「組合員の」と入れた方がよいのか検討していくこととした。
- ・夏季休暇の取得期間拡大については、引き続き個別の議題でやっていく。
- ・諸手当の要求に入っている官用車運転の助手席の超過勤務も引き続き要求していく。11 月はこのまま要求するが、人事院からは安全確認では難しいとの回答が過去にあり、考查管理室と話したところ、「うまくやってくれ」という雰囲気だった。よって、今後、付加業務等の検討をしていく必要がある。中執等で検討していく。
- ・寒冷地手当について、要求書では日本海側だけになっているが、予備交渉で函館の東北 3 官署、横浜の栃木、茨城等も口頭で伝えている。当局の反応としては、積雪量の増加ということになっているので、実績的にどうなのかとということもあり、文言は変えなくてもよいのではとなった。
- ・議題 3 の（7）地方官署の人員配置について、クルーズ船の入港は現状ないが、来年以降戻ってくる想定もある。また 2 年前のようにクルーズ船が戻ってくることを考えれば、そういったところも配慮をお願いしたいというような書きぶりの方が、好ましいと考える。
- ・テレワークについては、端末の準備、ポケット Wi-Fi 等、どこまで配備してどういう運用になるのかなどを今回の交渉で回答がもらえるようにする。

#### （2）内閣人事局、人事院交渉の総括

##### ア 内閣人事局

- ・10 月 21 日に、専従 3 名、副中央執行委員長 2 名の計 5 名で交渉を行った。

- ・交渉の内容について、書記長より説明があった。
- ・内閣人事局からは、観光立国として 2020 年 4,000 万人に耐えれる人員配置をしているという整理。衆議院選挙の結果と政府の方針次第なので今は何とも言えないが、今まで手薄となっていた通関検査（テロ対策含む）について、前年と同じベースで要求を考えている。との回答があった。
- ・内閣人事局からフリートークにおいて、総務省、内閣人事局ではパソコンのログで勤務時間の管理（超勤）をしているが税関はどうかとの話があった。税関の実施については把握しておらず、後日、全財務と情報交換を実施した。パソコンのログでログアウトした時間と超勤の△時間に 1 時間以上の差がある場合に管理者からヒアリングがあるとのこと。懸念事項として、組合活動を LAN 端末で行うこともあり、厳しい管理者によっては活動がしづらくなるのでは。今後、各地区本部でも情報を入手したら共有し、対応を検討していくこととした。

イ 人事院交渉

- ・10 月 21 日に、専従 3 名、副中央執行委員長 2 名の計 5 名で交渉を行った。
- ・交渉の内容について、書記長より説明があった。
- ・従前の結果を超える回答は無かった。

（3）専門委員会の進捗・方向性、結果報告について

各種専門委員会の実施予定について以下のとおり確認した。

ア 海事職専門委員会

- ・集合形式で 1 月 22 日（土）10:00～17:00 を検討
- ・海事職が集まる機会がないので開催は継続的に行う

イ 行（二）医（三）等専門委員会

- ・リモート形式で 12 月中旬から 1 月下旬の間（1 日）で開催を検討
- ・感染状況が落ち着ていれば東京で開催を検討

ウ 男女協働委員会

- ・前年の内容を確認して集合形式で検討

（4）各地区本部情勢報告（旗開き等の開催について）

ア 函館地区本部

- ・9 月 25 日に函館定期大会。10 月 2 日に函館青年総会を実施。
- ・10 月に新任係長研修（3 名）と補佐級研修（3 名）受講の組合員と昼食会で意見交換を実施。係長で 7 月に横浜から函館の支署に戻ってきた人がいて、上司が病気がちで下もいるのでプレッシャーを感じているとの相談があった。
- ・旗開きは未定。
- ・10 月 15 日に函館税関長表敬訪問。

イ 東京地区本部

- ・10月1日に東京定期大会。
- ・10月28日に東京税関長表敬訪問。
- ・11月5日に第1回地区委員会。
- ・11月19日に中央2名と外郵と成田の視察の予定。
- ・税関長交渉は12月の第2週で調整中。
- ・旗開きは現在検討中。

ウ 横浜地区本部

- ・9月24日に横浜定期大会。同日に新旧役員で執行委員会。
- ・来週人事院関東の交渉。11月1日に人事院東北交渉。
- ・旗開きは未確定だが、やらない可能性が高い。
- ・大型監視艇の配備について、担当している者と会計課、船舶職員有志が新潟支署のりゅうとを見学。ただ、設計の予算がついただけで建造の予算がついたわけではない。

エ 名古屋地区本部

- ・10月16日名古屋定期大会。
- ・静岡空港が閉鎖中だが、7月以降にカビが発生した。1年前にも中部空港で同様の事象が発生している。
- ・11月2日人事院中部の交渉。
- ・11月に入ってから税関長表敬。
- ・12月14日に税関長交渉。
- ・旗開きは未定。

オ 大阪地区本部

- ・欠席

カ 神戸地区本部

- ・10月2日に神戸定期大会。
- ・税関長交渉については日程調整中。
- ・オルグについては、コロナ対策を実施した上で行っている。
- ・旗開きは1月13日に予約しているが開催するかは未定。
- ・10月25日税関長表敬。

キ 門司地区本部

- ・欠席

ク 長崎地区本部

- ・10月2日に長崎定期大会（本関は集合。支署はオンラインのハイブリッド）。その際にオンライン環境に不安があったことから、新しく Anker のスピーカーフォンを購入した。使用してみた結果、特段不具合もなく好評であった。
- ・10月7日に幹部表敬訪問。
- ・12月9日に税関長交渉。
- ・10月から研修がWEBから集合に切り替わってきている。中等科は全員支所で受講予定なので話を聞く機会を設ける予定。
- ・旗開きは未定。

#### ケ 沖縄地区本部

- ・9月24日に沖縄定期大会。
- ・来週から来月にかけて各支署でオルグを実施予定。
- ・旗開きは未定。

#### （5）その他

- ・「中高年層組合員の処遇改善に関する要求書」「定年退職者の後補充等に関する要求書」について、考查管理室への提出を10月26日又は27日で調整している。
- ・政労連のカンパについて、全財務はペーパーを配って説明し、1口100円のカンパを集め。国税は、連合体なので各単組に委ねて、一律で集めるのかをこれから議論していくこと。税関労組としては、10万円を中央から負担することとし、金額の根拠は、9地区本部+中央とした。
- ・活動経過報告の新様式について確認を行った。特段反対意見は無かったため、今後は新様式を使用する。
- ・中央として、誰でもすぐに過去の議事録等が見れるようにしたり、税関ホームページの改善を検討している。
- ・統一行動について、中執で確認を取ってからではワンテンポ遅いので、事前に確認できるものは中執前に行うこととした。
- ・青年委員会の状況について村岡書記次長から以下の4点を報告した。
  - ①考查管理室長交渉の新規議題である移転料（支給対象外の車の輸送費等）について
  - ②JCUセミナーを集合形式で行う予定であることについて（コロナもあるのでオンラインも並行して検討）
  - ③コロナで集合研修ができず同期との交流ができなかった令和2、3年入関の新職を救う何かができるか検討していることについて（非組合員も誘えば加入慾にもつながると考えられるのでそこも検討）
  - ④中等科アンケートについて（現在、複数案を作成し、各地区本部に意見聴取中）
- ・テレワークが進む中、今後の教宣の仕方について検討した（ホームページ、公式LINE、新聞等。対象も組合員のみか、全職員か等）。今後、引き続き検討していく。
- ・公務労協から依頼がきている生活実態調査について各地区本部に協力依頼をした。

以上